

みんなで作る

緑立つ道

vol. 35
2003年1月発行

市の木・花

大東市

大東市の木はさんごじゆ。市民の憩いの場「深北緑地」や東部の山などで多くみられます。年中茂る緑の葉。秋には小さな赤い実が熟し、まるで陸の「サンゴ」です。また水分を多く含み、庭や公園の防火樹に活用されています。まちを美しく彩り、守る木なのです。
大東市の花は菊。奈良時代に鑑賞用として広まり、「古今和歌集」や「源氏物語」にも登場しました。また日本の花としても広く親しまれています。気品にすぐれ、芳香が高く、たくさんの種類をもつ菊。多くの市民に愛されています。市の木とともに昭和46年10月に制定されました。



守口市

守口市の木は楠。樹木類の中でも最も寿命が長く、丈夫です。公園や神社、公共施設などに植えられています。中でも守口市市民体育館の楠は雄大。見事な枝葉は、訪れる人々に優しい木漏れ日の空間を提供します。守口市の花はさつき。春になると公園や庭先などを飾ります。中でも「西三荘ゆとり道」は、満開のさつきあふれる散歩道。たくさんの人々がピンクのペールを楽しみます。また毎年5月ごろ、守口市駅前広場では「さつき祭」を開催。盆栽の作品展示や即売など、身近な花として親しまれています。市の木とともに昭和48年5月に制定されました。



四條畷市

四條畷市の木は楠。「楠木正行の墓」には、幹周りが約12メートルもの巨大な楠が茂ります。南北朝時代、足利軍との戦いで討ち死にした楠木正行の墓。その側に植えられた2本の楠が、やがてひとつの大きな木となりました。昭和46年、府の天然記念樹に指定。樹齢550年を超え、訪れる人々を太古の世界へと誘います。四條畷市の花はさつき。春から初夏にかけて、市内のあちこちで花開きます。赤・白・しほり桃など色彩感あふれ、多くの人々に愛好されています。市民に公募したアンケートで、もっとも票の多かった楠とさつき。ともに昭和45年9月に選定されました。



みんなで作ろう 緑立つ道新聞

「緑立つ道」は、沿線のみんなで作る新聞です。

発表!

「緑立つ道」vol.34での作品募集を受け、さまざまな方にご応募いただきました。ありがとうございます。皆様の作品は引き続き募集致しますので、どしどし応募ください。

- 俳句・川柳**
緑みち新春の風隔てなく 枚方市 匿名希望
サクサクと落ち葉踏み締め歩む 枚方市 匿名希望
赤黄橙かきかき歩む散歩道 枚方市 匿名希望
木もれ日の間に燃えるもみじかな 四條畷市 匿名希望
雪山に見ゆる緑の色映えて 守口市 匿名希望
緑立つ道も心も花ざかり 守口市 匿名希望
里の秋思い描いた道がある 富田町 匿名希望
交野行く緑きわたつ道路かな 交野市 匿名希望
まわり道黄金の落ち葉踏みたくて 門真市 匿名希望

俳句・川柳



グリーンフィンガー

秋明菊が咲きほころびました。京都の貴船に多く自生するので、貴船菊とも言います。(枚方市 匿名希望)

応募くださった方全員に
花の種
プレゼント!

「緑立つ道」Q&A 「地震に対してはどのような対策を行なっているんですか?」

平成7年1月17日に発生した都市直下型の阪神・淡路大震災を教訓として、第二京阪道路では、阪神・淡路大震災と同規模の地震が再び発生した場合でも耐えられるように設計されています。また、地震による橋げたの落下を防止するための落橋防止装置や、地震の揺れを減衰させるための支承など、第二京阪道路には最新の耐震技術が採用されています。

大募集!

俳句・川柳・短歌など
「緑」や「道」の語が入った作品をお寄せください。

絵・絵手紙
あなたが思い描く「緑立つ道」の絵や「緑」を感じさせる絵手紙をお送りください。

緑のスポット
あなたのお気に入りの自然あふれる場所を写真に撮って、場所もご明記のうえ応募ください。

グリーンレシピ
「緑」を連想させる美味しい料理レシピ(できれば写真も添えて)をお教えください。

グリーンフィンガー
「グリーンフィンガー(緑の指)」とは、園芸の才能に恵まれた人のこと。自慢のガーデニングなどの写真をお待ちしています。

応募方法
俳句・川柳・短歌などは下欄の「葉書」(Q3の欄)または「官製葉書」で、写真や絵は「封書」で、それぞれご応募ください。あなたの①お名前(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③年齢 ④性別 ⑤電話番号 ⑥お持ちの方はEメールアドレスのあなたの作品を紙面に掲載するにあたって、匿名を希望する、しないのいずれかも明記して、作品とともに下記までお送りください。

【宛先】〒573-8790 枚方市南中振3-2-3 国土交通省 近畿地方整備局 浪速国道事務所「緑立つ道」編集室35号係 **【応募締切】**作品は随時受け付けていますが、1月31日までにお送りいただくと、3月発行予定の次号に掲載される予定です。これを過ぎると、作品の掲載は次々号以降となります。
※ご応募いただいた作品は返却できませんので、ご了承ください。



新春
特別
座談会



「緑立つ道」がよいよ部分開通します。そこで著名なオビニオンリーダーお二人をお招きして、新春特別座談会にご出願いただきました。地域の活性化、人と道とのより身近な関係は... 「緑立つ道」が導く、社会や暮らしへの効果と期待について、活発な意見交換がなされました。



「緑立つ道」が作るネットワーク。人と人、道と人をつなぎます。

「緑立つ道」は、大阪と京都を結ぶ新しい幹線道路《第二京阪道路》の愛称です。

「緑立つ道」新春座談会

今春、『緑立つ道』は久御山ジャンクション(仮称)と国道307号交差位置(枚方市)間の部分開通を迎えます。今号では京南倉庫(株)のさんと景観デザイナーのさんに、着々と工事が進む現地の様子などをご覧いただきました。その後、国土交通省 浪速国道事務所の八木茂樹所長と日本道路公団 枚方工事事務所の椎野正教所長を交え、『緑立つ道』がもたらす役割や期待についてお話をいただきました。

「緑立つ道」が街と街をつなぐ、新しいネットワークに。

上村 高度に発達を遂げた情報化社会の中で、情報伝達スピードと人や物の移動時間とのギャップは大きくなるばかりです。私は物流という事業を通じて道路と深く関わっている仕事柄、そのことを痛感しています。高速道路によって距離の遠さを時間がカバーしてくれます。今、情報と共に物理的な移動を強化することはとても大切だと感じています。

八木 近畿地方には3つの大都市、大阪・京都・神戸があります。

ただ、それぞれ個性や歴史を持っていますが、各都市を結ぶ部分がまだ弱い。「緑立つ道」はその連携を強めるための一端を担う重要な役割を果たします。

上村 各都市がそれぞれの特徴を活かし、協力しあえば、近畿全体の活性化につながりますね。
八木 はい。「緑立つ道」はその中の京都と大阪を結ぶ道路です。同時に沿道市域の街づくりも結びます。

横山 高速道路が整備されれば、近くの街へ一般道を通って行くより短い時間で移動できることがあります。

そう考えると各都市で公的な施設を共通で使える、将来的なメリットも考えられるのかもれません。

たとえば大型の病院を2,3都市でひとつにし、各都市の負担を少なくする。代わりにその施設を充実させる。そしてそこまでの道のりを短時間にするのが高速道路。そうすれば救急車が曲がりくねった一般道を走るより短時間で、設備の整った病院へ行けます。「緑立つ道」が導くネットワークによって、各都市が持つ機能を分担できることも期待したいです。

椎野 確かに他の地方ではインターチェンジの近くに総合病院などの施設を作ろうという計画も出ています。

上村 これからは都市間の連携の在り方が変わるでしょうね。

同時に市道や府道の整備も進めてほしいですね。ボトルネックとなる部分をぜひ整備してほ



しい。インターチェンジなどの渋滞が他の道路に与える影響は、住民の方にとって気がかりです。

椎野 今まさにそのような声の挙がっている地域があります。これからは新しい道づくりとともに、その周辺の道路とのつながりも考える必要があると思います。これは重要なことだと思います。

横山 情報伝達や物流だけでなく、生活に密着した部分でも大きな機能を実現してくれそうな気がします。

「スープの冷めない距離」という言葉があるでしょう?家族どうしが近くに住んでいたいという想い。「緑立つ道」が移動の時間を縮めることで、そういった距離の範囲を広げてくれると思います。

上村 時間が距離を超えて人々の暮らしや産業の在り方も変わってきます。「緑立つ道」がもたらす効果や可能性は限りないですね。

沿道市域の歴史や自然を再発見! 地域づくりの起爆剤に。

上村 「緑立つ道」の沿道市域には歴史的に重要な場所がたくさんあります。

たとえば巨椋池の跡地はおよそ150万年前は湖でした。京都市は昔、湖の底だった場所が

隆起してできたこともあって、その跡地は今も大昔の生態系が残る貴重な場所なんです。男山八幡宮や水無瀬など。新古今和歌集で後鳥羽上皇が詠んでいますよね「見渡せば山もどかすむ水無瀬川夕べは秋となに思ひけん」これは辺りの素晴らしい景色を詠んだ句なんです。また、枚方や寝屋川には立ち寄り寄りたいお寺や神社などがあります。

「緑立つ道」によって、電車だけでは訪れることが少なかった歴史跡や、あまり知られていない新しい観光地の発掘ができるかもしれませんね。

八木 この地域は昔から重要な交通路でした。今でも枚方公園の辺りには当時の宿場の建物が残っています。紀州の殿様は参勤交代に利用したそうですよ。

椎野 歴史的に貴重なものは各地にたくさんあります。また里山を大事に守っている地域や豊かな自然も残っています。

横山 より広い地域から多数の方が沿道周辺を訪ねることで、郷土や自然の再発見ができると思います。

上村 訪れたくなる場所や施設づくりも大切だと思います。たとえば、わざわざ高速道路を

通ってでも、そこにしかない名物を買に行きたいようになるような。そして、デートスポットになるドライブコースとしての楽しみ方もありますね。
横山 そういう楽しみ方がありますよ。

椎野 これからはサービスエリアなどの充実も考えたいと思います。

上村 ぜひ「緑立つ道」が地域づくりの起爆剤になることを願います。

緑あふれる環境施設帯。四季を感じられる憩いの場。

椎野 「緑立つ道」には3つの機能をもつ道があります。まず、自動車の通過が目的だけの自動車専用道。つぎに地域の人々が主に利用する一般道。そして歩行者や自転車のための自歩道です。

このように機能的な使いやすさに加え、見た

目にも美しく、沿道周辺とうまく調和した道路づくりを進めています。

横山 今日「緑立つ道」を間近で見て、沿線の分断感がなくていいなあと思いました。大きな高速道路ができると、地域が分断された印象を受けることも多いんです。でも「緑立つ道」のスレンダーな姿は、それをあまり感じさせません。

八木 「緑立つ道」では「デザインアドバイザー会議」で専門家などのご意見を聞き、景観と調和するデザインづくりに努めています。地域住民のみならず、大きな高速道路は異質な存在です。だからこそ少しでも地域と共生するように考えています。

今日ご覧いただいた「内里ポケットパーク」は環境施設帯のモデルです。環境施設帯は、音や大気など環境への影響を少なくするためのバッファゾーン(緩衝地帯)ですが、それだけでなく高速道路という異質な存在と地域とを共生させるための機能も果たします。高速道路の構造だけを考慮して建設をすすめている訳ではないのですよ。

椎野 環境施設帯に植える木は、地元に適した種類を選んでいきます。気候や土壌だけでなく、地域の方に馴染みのある木ですね。その土地に自生していた樹木なども活かすようにしています。

上村 今日はたくさんの植物が植えられているのを見ました。このあたりは平野で、緑が集まった森のような場所が少ないんです。ですから自然があることで、通ってみたい、歩いてみたいと思う方も増えると思います。四季のやすらぎや、風を感じられる場所になってほしいですね。

横山 美しい居心地のよい空間は誰もが歩きたいと思いますよ。高速道路からの景色も同



⑤ 八幡市上津原J.C.T(仮称)完成間近の自動車専用道路

ゲストプロフィール

【さん】
甲南大学文学部卒業。
京南倉庫株式会社
京都経済同友会常任幹事、近畿のみちを考える懇話会などをつとめる。
まちづくりの企画、京都のネオ・ルネサンス運動をめざす一詩、エッセイ、小説などを執筆。
主な著書「きつとまうくよ」「平生軌三郎伝」など。

【さん】
帝塚山学院大学 文学部 美学美術史学科卒業
有限会社エイライン、NPO法人ミナミまちづくりフォーラム理事、
大阪商工会議所 都市活性化委員
技術士(建設部門:都市および地方計画、道路)



国土交通省近畿地方整備局
浪速国道事務所 所長
八木茂樹



日本道路公団関西支社
枚方工事事務所 所長
椎野正教

④ 久御山ジャンクション見学館/屋上
遠くまで続く「緑立つ道」を眺めながら、
「山のスカイラインとのバランスがいいですね」と横山さん。

じです。この道を通るだけで、景色が楽しめる、いい気分になれるような……
目的がなくてもドライブを楽しみたいと思えるような道ってステキでしょう?そんなみんなが行きたくなる道路になってほしいですね。
ここは春がとても良そうですね。

沿道住民の方々と共に進める道づくりを目指して。

横山 今、様々な分野で「多様性」が必要とされています。道路もいろんな使い方が求められるのではないのでしょうか。使い方が単一的だと利用する人も限られてくる。

道路は通行の場というイメージがありますがそれだけでは人に自然を楽しんでもらう機能もプラスするとコミュニケーションの場として利用するなどプラスアルファが今後の道づくりに必要だと思います。そこでの使い方を検討するには、住民の方々のご意見が非常に重要です。土地のことは周辺に住んでいる人が一番よく知っています。実際にその道路を使う人の思いを聞くことは、とても大きな意味があると思います。

八木 人々の生活に配慮したきめ細かな対応をするために、沿道住民の皆さんの声は欠かせません。説明会を通して、地域の方の声を伺いながら事業を進めてきています。

上村 それに、今後「緑立つ道」の素晴らしい木々や草花を維持するためにも、沿道住民みなさんのご協力が必要ですね。そのためには「緑立つ道」を身近に感じられるようにすることが大切だと思います。

横山 神戸市では、道づくりが住民の方々の交流を深めるきっかけになった例がいくつかあ



② 内里ポケットパーク(写真真左)
郷土館を活かした植樹帯、四季の草花が楽しめる憩いの場(「青から紫」)

④ 久御山ジャンクション見学館(写真真上)
模型を見ながら、四方向をつなぐルートを確認しました。

道百話

騒音を緩和する新しい技術の「遮音壁」

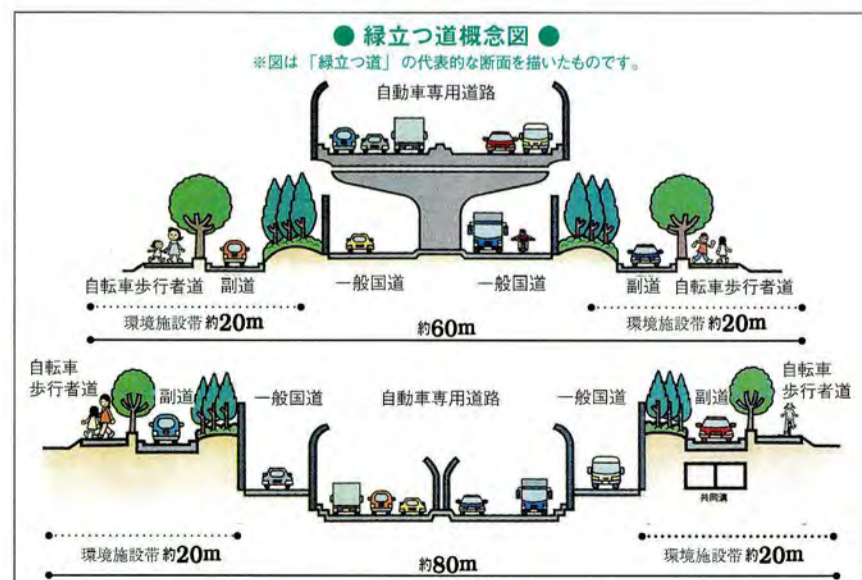
「ノイズリデューサー/写真A」は遮音壁の頂部に取り付けられる吸音装置です。より多くの騒音を吸収するのに効果的な形をしています。もうひとつは「ミニトナカイ型防音装置/写真B」。先端部の内側が枝分かれし、道路側からの騒音が段階的に小さくなるしくみです。どちらも同じ高さの従来壁より、高い効果が得られます。また高さを抑えられるため、走行中の圧迫感をやわらげ、日照障害や景観への影響が軽減されます。



ノイズリデューサー



ミニトナカイ型防音装置



① 八幡市上津原J.C.T(仮称)完成間近の自動車専用道路